作成日 平成 20 年 5 月 27 日

部局名	総務企画部	所属名	総合企画課 統計調査室	所属長名	設楽 岩	電話	483-1151 内線2334

1	事務事業の位置付け	▪概要	(PI	AN
	〒17 〒末り 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19	112/1/52	\	$\neg$ $\square$

コード	310	06	事務事業名称	統計調	統計調査総務事業						短縮:	コード	経常 310	06 臨時	
予算区分	会計	01	一般会計		款	02	総務費		項	05	統計調査費	目	01	統計調査総	務費
区分	☑ 自治事務 □ 法定受託事務		i	根拠	法令等	八千代市事務分掌 八千代市行政組織	規則第								
<u>Б</u> Л	□ その他					124		八千代市統計協議会	会補助的	金交付	要綱				

## 事業概要 (事務事業を開始したきっかけを含めて記入)

各種統計調査に係る総務管理業務として、統計調査が円滑に実施できるような環境づくりや、統計調査に関する情報の配信やデータの管理等を行い、統計調査の重要性 を周知するために実施。

八千代市統計協議会への助成(各種統計調査に対応するため、昭和54年4月統計調査員の確保並びに育成を図るために発足)

計画事業期間

## 事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測

近年における統計は行政のための統計から、社会の情報基盤へと幅広い 資料に活用されている。統計を得るためには、調査員等の正確な実地調 査が基になるが調査をとりまく環境は、生活形態の多様化や個人情報等 プライバシー意識の高揚などにより、厳しい状況に置かれている。その 中で、全ての調査対象からの協力を得ることや調査員の確保が難しくな ってきている。

また、調査員の確保等を目的に発足した八千代市統計協議会の会員構成についても、高齢化や地域による登録会員の人数格差が生じてきており、市内全域をカバーすることが困難な状況になると推測される。

	5本の柱(章)	06	計画推進のために				
	大項目 (節)	01	パートナーシップによる市政運営と市民自治の推進				
総合	中項目	01	パートナーシップによるまちづくりの推進				
計画	<b> </b>						
の施	小項目(施策)	02	市民参加体制の充実				
策	<b>介·</b> 複白(肥果)						
体系	細項目	03	市民ニーズの的確な把握と市政への反映				
	州 久 口						
	実施計画の						
	計画事業						
平成	19年4月 ~ 平原	戈20年3	月 計画事業費 千円				

2. 事務事業の目的・指標・実績(DO)

計画事業の位置付けの有無

11.69	(+2)   +1   0   10   +1   7   2   2   2   2   2   2   2   2   2						
対象	統計情報の収集及び整理						
(誰を何を対象にし	八千代市統計協議会への補助(調査員の確保・育成)						
ているのか)							
	※平成19年度に実際に行ったこと: 統計調査に関する情報の収集及び配信、統計資料の管理						
	祝計調査に関する情報の収集及の配信,祝計資料の管理   (○市ホームページに統計データ等の掲載,○広報による統計調査の啓発,○千葉県京葉ブロック研究会・市町村統計主管課長会議への出席,○						
	一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、						
手段	八千代市統計協議会への補助,県統計協会等への負担金の支出						
「デストライン (具体的な事務事業	(調査員研修会の実施、統計図書等の配布等)						
のやり方、手順、詳							
細)	※平成20年度に計画していること:   同上ではあるが,市ホームページ等の媒体を有効活用し統計に関する幅広い情報の提供を行う。						
意図	統計調査が街づくりや社会生活基盤の資料等に活用されていて市民生活とは切り離せない重要性等について周知を図り、各種統計調査が円滑に実						
(何を狙っているの	施できるよう環境を整備する。						
か)							
結果	入力対象外						
(どんな結果に結び							
つけるのか)							

区分			# / <del>+</del>	18年度	1 9	20年度	
			単位	実績	計画	実績	計画
	指標 1	八千代市統計協議会会員数	人	96	89	101	101
対象指標	指標 2						
	指標3						
	指標 1	八千代市統計協議会会員の調査員等延べ従事数	人	43	89	87	120
活動指標	指標 2						
	指標3						
	指標 1	調査員等に占める会員の割合	%	37	100	65	100
成果指標	指標 2						
	指標3						
	指標 1						
上位成果指標	指標 2						
	指標3						

<b>⊐</b> -	- ド	3106	事務事業	名称	統計調査総務事業			所属名	総合企画課 統計調査室		
単位				単位	18年度	1 9	9年度			2 0 年度	
				平位	実績	計画		実績		計画	
			国	千円							
			県	千円							
	財源区	内訳	地方債	千円							
<b>+</b>			一般財源	千円	610	567			549	543	
事業			その他	千円							
費 (A)	主な事業費の内訳				八千代市統計協議会補助金 200	八千代市統計協議会補助金 200	八千代市統 200	計協議会	補助金	八千代市統計協議会補助金 200	
人件費(B) 千円				千円	8, 775. 3	8, 763. 2	7, 319. 4			7, 401. 3	
ト ー タ ル コ ス ト (A) + (B)			(A) + (B)	千円	9, 385. 3	9, 330. 2			7, 868. 4	7, 944. 3	

## 3. 事務事業の評価(SEE)

3.	事務事業の評価(SEE)									
評価 類型	評価事項	評価区分	理由							
		☑ 結び付いている	この事務事業の意図として,各種統計調査が円滑に実施できるような環境を整備してい ,市民の統計調査に対す関心と理解を高める必要があり,市民参加体制の充実に結びつ われ,統計調査の結果が市民生活の方向性を的確に捉え市の施策や計画に反映される。							
	①事業目的が上位の施策に結びつ	□ 結び付くが見直しの余地がある	<ul><li>つれ、統計調査の結果が市民生活の方向性を的確に捉え市の施策や計画に反映される。</li></ul>							
	いているか?	□ 結びつきが弱い・ない								
		□ 評価対象外事項								
		□ 達成している	八千代市統計協議会の会員による統計思想の啓蒙や統計の活用についての周知などを行っているが、個人情報の保護意識や統計への無関心からの非協力など、全ての市民に統計調査の重要 性が思知されているとは言えず、意図な速度とているとは言いがない。							
	②すでに所期目的を達成しているか?	☑ 達成していない	- 性が周知されているとは言えず,意図を達成しているとは言いがたい。							
目的妥当	※「達成している」を選んだ場合、⑥ に進んでください。	評価対象外事項								
性	③民営化で目的を達成できるか?	□ 可能性はある	統計法に基づき実施される各種統計調査の調査業務を、円滑に遂行するために必要な事務事業であり、現行の制度の中では民営化は不可能と考える。							
	※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。	☑ 可能性はない								
	(民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。)	□ 評価対象外事項								
		☑ 現状のままでよい	国,県等からの受託事業である統計調査を円滑に実施できるよう,現状のままでよい。							
	④「対象」・「意図」の設定は現 状のままで良いか?	□ 見直す必要がある								
		□ 評価対象外事項								
		□ 有効性向上の可能性がある	統計調査における所管は国や県であり、その環境整備について市単独での事業としては有効性 や効率性は求められない。							
	○今後、有効性や効率性を向上さ こる可能性はあるか? 可能性がある場合は、⑤ー2,									
	3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記	□ 両方可能性がある								
	入する。   	☑ 可能性がない								
有	□ ⑤-2 有効性や効率性を向上さ	□ 民間委託等								
	せる手段は何か? 該当する手段を選択し、	□ 臨時的任用職員等の活用								
効率	具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」	□ IT化等業務プロセスの見直し								
性	である場合は、該当する類似事業を記入する。	□ 受益者負担の見直し								
		□ 類似事業との統合・役割見直し	類似 1 実施主体 (所管部署)							
		□ 上記以外の方法	事業     実施主体       名称 2     (所管部署)							
	⑤ー3 推進にあたっての課題はあ	□ ある								
	るか?(一時的な経費増・市 民の理解等)	口ない								

<b>⊐</b> -	- ド 3106 事務事業名称	統計調査総務事業		所加	属名	総合企	画課 統計	·調査室	
今後の方向	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	<ul> <li>□ 改革・改善して継続</li> <li>□ 手法プロセスの改革・改善</li> <li>□ 事業規模の拡大・縮小</li> <li>□ 統合・役割見直し</li> <li>□ その他</li> <li>□ 廃止</li> <li>□ 休止</li> <li>☑ 現状のまま継続</li> </ul>	統計調査が円滑にわれる。	実施できる環境を維持して	いくに	は、事	業を継続	して行う必要	要があると思
性		経	費統	 計調査が円滑に実施できる	 5環境を	*維持し	ていくに		 まま継続する
		削減一不	业	要があるため、経費・成果				, , , , ,	
	⑦この事務事業の今後の経費・成果 の方向性について選択し、右欄に理								
	由を記載する。	成 不 変 □ ☑							
		果 <u> </u>							
			,   🗆						
※内	事務事業に対する市民や議会の意見 部サービス業務の場合は、住民ではな	(担当者が把握している意見) こく、サービス利用者、関連部門の	意見や実態など						
10,10	なし。								
所属長コメント	統計調査の取り巻く環境は現在,大き実施できる環境を作ることが,市民にも,この事務事業は継続していく。	の市政への参加につながって行くと							
	□改革改善して継続担	当課の評価のとおり現状のまま継続	- 売とする。						
評価調整委	<ul><li>□ 手法プロセスの改革・改善</li><li>□ 事業規模の拡大・縮小</li><li>□ 統合・役割見直し</li><li>□ その他</li></ul>								
員会	□ 廃止								
評価	□ 休止								

☑ 現状のまま継続